

本事業に取り組むエリア(自治体名)	栃木県宇都宮市
本事業の実施主体	宇都宮市、(一社)宇都宮市医師会
本事業に参画する団体名	宇都宮市、(一社)宇都宮市医師会
地域の状況	<p>①人口 約50万人</p> <p>②地域の特徴 県庁所在市。中核市。今後、人口減少、高齢化率上昇が見込まれる。</p> <p>③災害等の歴史 比較的災害が少ない地域だが、2019年に市内を流れる河川が氾濫した。</p> <p>④在宅医療ケア資源と病院等との連携 宇都宮市では、市内を5ブロックに分け、ブロック内の基幹病院を連携支援ステーションに、医師会を連携支援センターとして、医療・介護の多職種連携を図っている。</p> <p>⑤その他特記事項</p>
地域の課題	<p>①これまでの被災経験・コロナ対応で特筆すべきこと 災害の少ない地域なので、平時からの災害時の連携意識が乏しい。</p> <p>②連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由 ブロック連携が進む中で、そのスキームを活用して連携型BCPが図れないか。</p> <p>③わが地域のBCP観点からの課題 市の面積が広く、住民、医療機関が偏在している。</p> <p>④その他特記事項</p>
取り組み内容と目標	<p>今年度のプラン</p> <p>1) 有事でも切れ目のない医療・ケアを提供するためのブロック内連携内容検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関が被災した場合のバックアップ体制を検証する。</li> <li>・関係者間での情報共有方法を検証する。</li> <li>・再開プロセスの策定とその間の支援体制を関係者間で共通認識を持つ。</li> <li>・情報共有に必要なツールと、個人情報の管理と適切な取り扱いを検証する。</li> <li>・法的な制約と診療報酬等のインセンティブを検証する。</li> </ul> <p>2) 連携型BCPの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に優先して継続・復旧すべきこと、在宅医療患者の優先度を決定する。</li> <li>・復旧の目安や期間の検討と、復旧が難しい場合の引継ぎ先を決定する。</li> <li>・緊急時に提供できる内容の検討と、患者への事前説明を行う。</li> <li>・サービス提供の代替案として、主治医・副主治医等の複数体制を検討する。</li> <li>・災害時の情報共有と連絡手段を決定する。</li> </ul>